

テーマ研究・調査活動成果報告書

提出日：2018年3月9日

テーマ名	中小企業の経営課題や改善策を抽出する「企業診断」モデルの開発(RFP)モデル	
届出組織等名称	ITC札幌有限責任事業組合	
成果物公開URL	https://www.itc-sapporo.jp/download/	
当活動代表者 及び担当者連絡先	(代表者氏名)佐々木 身智子 電話番号:090-7658-9641 e-mail:sasaki@itc-sapporo.jp	(担当者氏名) 別添通り
研究・調査 成果概要	<p><第1回 ワーキング開催> 日時:2017年11月13日(月)16:00~18:00 場所:富士通株式会社15階応接室(札幌三井 JP ビルディング) 内容:方向性と役割分担の決定、たたき台の提示</p> <p><第2回 ワーキング開催> 日時:2018年1月23日(火)14:00~17:00 場所:札幌Lプラザ4階 特別会議室 内容:グループ別に担当箇所のブラッシュアップ、整合性チェック 2/末 〆切</p> <p><オンライン作業>サイボウズLive を利用 日時:2017年11月14日 ~ 2018年2月27日 <最終確認業務> 日時:2018年2月27日 ~ 2018年2月28日 <成果物公開> 日時:2018年3月1日</p>	
成果物	<p>本診断シートは、ITコーディネータが診断結果を記入するような利用方法を前提としています。 [注]中小企業が自己診断するための診断シートは次年度に作成する予定です 診断は、①経営基盤に関するビジネス競争力、②情報化基盤に関するビジネス競争力について、それぞれ大分類、中分類の診断項目がありますので、ヒアリング等を通して各項目毎に成熟度を診断し記載します。また、成熟度を決めた理由を「成熟度根拠」に記載します。 次に、成熟度が低い項目や診断先企業が経営課題と考えている項目について、成熟度を上げるための(重要な)ポイントを記載します。これは、現在のレベルと目標とするレベルにより違ってきますので、課題解決につながるツール類を参照しながら、診断を行うITコーディネータが、過去の経験等を参考にアドバイスしてください。 診断終了後、大分類毎の成熟度レベルは自動集計されます。そこで、ITコーディネータは、「レポート」中の全体総評、大分類毎の評価欄に診断結果を記載し、診断結果と改善方法を企業に説明します。。</p> <p>中小企業の経営課題や改善策を抽出する「企業診断」モデル diag_20180301.xlsx (Microsoft Excel 35.8 KB)</p>	

* 青字は事務局で記入します。

事務局受付日
案件番号

2018/3/22
S17001

活動メンバー(20名まで)

氏名	ITC認定番号	氏名	ITC認定番号
1)佐々木 身智子(代表)	0003432001C	11)南 智行	0056462006C
2)風間 孝啓(副代表)	0010662001C	12)山崎 真	0099802011C
3)寺中 武裕	0017462002C	13)長島 正治	0097382011C
4)山田 剛	0006342001C	14)	
5)村形 鉄雄	0100112012C	15)	
6)久蔵 宏幸	0096772010C	16)	
7)梁瀬 英司	0061422006C	17)	
8)渡辺 順一	0065412006C	18)	
9)笠原 俊哉	0096672010C	19)	
10)住 泰一郎	0108042013C	20)	